

2020年10月30日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 畑 佳 秀
(コード番号 2282 東証第一部)
問合せ先 広報 I R 部 松 田 知 也
(T E L 06-7525-3031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年7月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

- 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値（2020年4月1日～2020年9月30日）

(単位:百万円)

	売上高	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的一株当たり四半期利益
前回発表予想(A)	580,000	16,000	17,000	12,500	121.45円
今回発表予想(B)	573,400	21,900	28,700	19,400	188.75円
増減額(B)-(A)	△ 6,600	5,900	11,700	6,900	
増減率	△1.1%	36.9%	68.8%	55.2%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	616,266	21,832	14,963	10,331	100.39円

- 2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	事業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的一株当たり当期利益
前回発表予想(A)	1,200,000	37,000	30,000	22,000	213.75円
今回発表予想(B)	1,180,000	42,000	38,000	26,000	252.97円
増減額(B)-(A)	△ 20,000	5,000	8,000	4,000	
増減率	△1.7%	13.5%	26.7%	18.2%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,229,826	43,772	27,039	19,214	186.70円

2. 業績予想修正の理由

《第2四半期連結累計期間》

新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要の高まりを受け、量販店向けの販売が好調を維持しましたが、外食向けなどの業務用商品については依然として厳しい状況にあったことなどから、売上高は前回予想を若干下回る見通しです。

利益につきましては、加工事業において、内食需要の拡大により主力ブランド商品の販売が伸長し、利益率も改善したことに加え、食肉事業においては、国産鶏肉・国産豚肉の相場上昇基調が継続したことにより、生産部門が堅調に推移しました。また、飼料価格の低下と国産豚肉の相場高により生物資産の公正価値評価益が想定を上回ったことに加えて、海外の持分法適用会社の業績も好調に推移しました。こうした状況を踏まえ業績予想を見直した結果、各段階利益において前回予想を上回る見込みです。

《通期》

第2四半期連結累計期間の見通しの修正を踏まえ、通期連結業績の見通しについても修正いたします。

《将来に関する記述等についてのご注意》

本プレスリリース資料に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、このプレスリリースに記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

以 上